

# JAだよりおおがた Ogata

10  
OCTOBER  
2017 No.531

特集

第5回JAまつりを開催しました！ 04



## 今月の表紙 百日紅（サルスベリ）

9月20日、大潟村役場となりのふれあい広場で撮影しました。

原産国の中国では、7月から9月にかけて紅色の花を咲かせ続けることから「百日紅」と呼ばれていたものが、江戸時代に日本に渡ってきた際に、樹皮がとてもツルツルとして猿が滑って落ちそう、というところから「猿滑り」と呼ばれるようになったそうです。

## 今月号の主な内容

- 02 あぐりプラザ情報・健康百科
- 03 女性部活動だより
- 06 おおがたな話題・種苗交換会のお知らせ
- 07 インフォメーション・理事会報告・青年部活動報告と予定・職員人事
- 08 フォトニュース



JAグループ秋田キャッチフレーズ

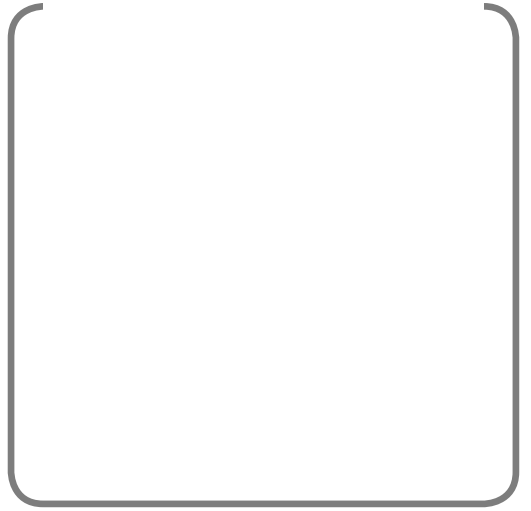
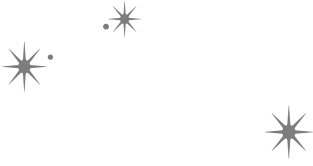
いいねもいっばい届けない

JA大潟村











# 大潟ドリームス、はつらつプレー

## J A 共済学童野球大会

9月16・17日、秋田県営野球場（秋田市雄和）などを会場に、第15回J A共済学童野球大会が行われ、県内15 J Aの管内代表チームが熱戦を繰り広げました。

この大会は、J A共済の生活福祉活動の一環として、学童の体力増強と健全なスポーツ精神の育成を図ることなどを目的に毎年行われているものです。

大潟村管内からは「大潟ドリームス」が出場し、1回戦はあきた白神管内代表の「二ツ井野球スポーツ少年団」に激戦の末、7対6で競り勝ちました。

続く2回戦では、秋田おばこ管内の「花館ドッカーズ」と対戦し、健闘及ばず18対3で敗退しました。

悔しさをにじませる選手たちでしたが、観覧席からは健闘をたたえて惜しみない拍手が送られました。

（写真は保護者の松本正明さんから提供いただきました）



大潟ドリームスの皆さん、お疲れ様でした！

# 最盛期を前に

## トルコギキョウの目揃え会

営農支援課と花き栽培部会O・F・S（大潟村フラワーグリーンゲセクシヨン・餌取修身会長）のトルコギキョウ班（工藤稔徳班長）は9月27日、J A農産物集出荷場で目揃え会を開催し、12人が参加しました。

現在大潟村でトルコギキョウを生産しているのは8農家で、7月から11月の間市場に出荷しています。10月上旬に出荷のピークを迎えるため、毎年この時期に目揃え会を行い、収穫や調整の留意点、出荷規格などを確認しています。今年も天候不順により丈がやや伸びにくい傾向だということです。

が、生産者の池田量衛さんは、「値段がまだついていないので何とも言えないが、今年は昨年よりも良いものができたと思う」と感想を述べました。



爽やかな緑色のつぼみと、豪華なフリルでオフホワイトの花が人気の品種「ボン・ボヤージュホワイト」



トルコギキョウの収穫や調整の留意点、出荷規格などを確認する生産者